

本リリースは、株式会社スリーディー、キャッツ株式会社から配信しております。
重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承下さい。



News Release

2013年4月22日
株式会社スリーディー
キャッツ株式会社

車載向け次世代 HMI モデルベース開発ツールチェーンを提供開始
～ 5月30日(木) REMO と ZIPC 連携の紹介セミナーを開催 ～

株式会社スリーディー(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:渡良井 葉麻)は、キャッツ株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:清成 友晴)と 組込み向け CASE ツール「ZIPC(ジップシー)」製品の代理店契約を締結しました。

スリーディーのリアルタイム 3次元グラフィックスツール「REMO(リモ)」とキャッツの「ZIPC」は、車載ディスプレイユニットの開発で使用実績を有しており、この度、次世代 HMI モデルベース開発ツールチェーンおよびサービスの提供を開始いたしました。

なお、2013年5月30日(木)と6月19日(水)に新横浜にて「REMO と ZIPC 連携の紹介セミナー」を開催する予定です。

近年、メーターやナビ、ヘッドアップディスプレイなど各種 HMI システムへの要求が複雑かつ大規模化しています。それに伴う問題として、HMI デザイナーとソフトウェア開発者のコミュニケーションギャップ、実装やテスト期間と工数増大、検証の困難による品質低下などが顕在化してきます。このため、開発プロセスの改善による品質と開発効率の向上が求められています。

そこで、3次元デザインの可視化を得意とする「REMO」と状態遷移系のモデリング、シミュレーション、ターゲット実装を得意とする「ZIPC」を連携させることで、コミュニケーションギャップの補完およびオートメーション化による次世代 HMI システムの品質と開発効率の向上が期待できます。本ツールチェーンの特長は以下の通りです。

- HMI 向けモデルベース開発ツールチェーン(REMO と ZIPC 連携)の特長
- ・PC によるモデルベースのラピッドプロトタイピングシミュレーションを容易に実現
- ・HMI モデルを容易にターゲット実装:(OpenGL を搭載した組込み機器プラットフォーム向け)

【REMO と ZIPC 連携の紹介セミナー】

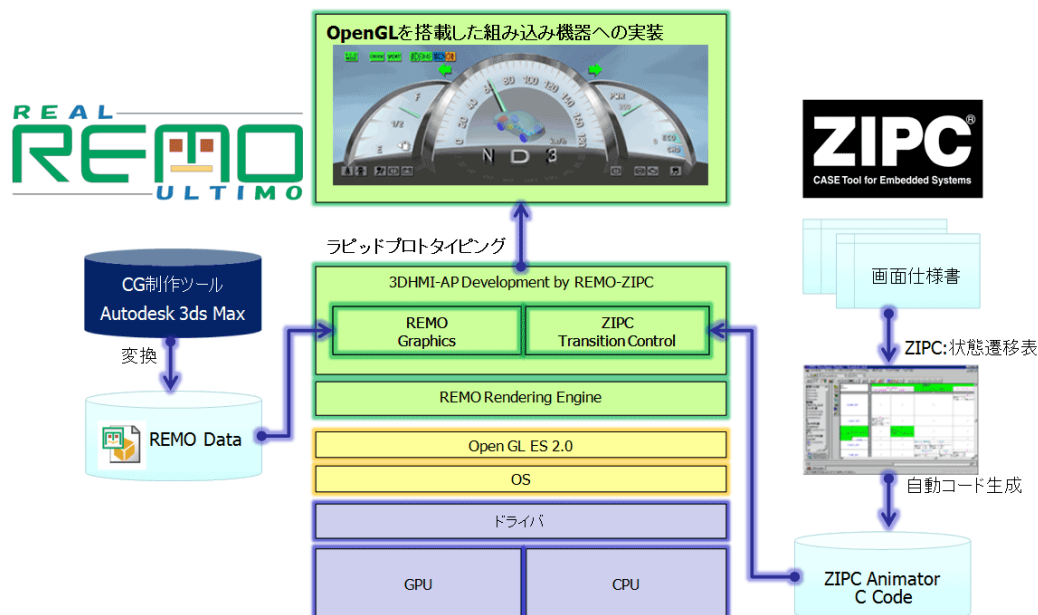
開催日:第1回 2013年5月30日(木)、第2回 2013年6月19日(水) (2回開催)

開催場所:横浜市港北区新横浜 2-11-5 川浅ビル 9F (「新横浜駅」より徒歩 10分)

参加費:無料

参加申込:Web フォーム「 세미나番号 CZ-6」 <http://www.zipc.com/seminar/index.html>

【REMO と ZIPC の連携図】



■REMO の特長

各種組み込み機器で REMO のレンダリングエンジンを利用し、3次元描画のアプリケーション開発に最適な OpenGL ES 対応のソフトウェアフレームワークです。

- ・Khronos Group 策定の OpenGL ES 1.x / 2.x に準拠
- ・車載機器向けプログラミングガイドライン「MISRA-C」に準拠
- ・各種プラットフォーム(組み込み OS、PC 向け OS)への対応
- ・用途に応じた RAM、ROM の使い分けによる高度なメモリ管理が可能
- ・アクセラレーション機能、シェーダー機能(OpenGL ES 2.x)によるパフォーマンスの最適化が可能
- ・代表的な CG 制作ツール Autodesk 3ds Max にプラグインしてデータを受け取ることができ、コンテンツ制作とプログラム開発における検証・開発コストを削減できる。

■ZIPC の特長

リアルタイム制御・組み込み系分野向け「拡張階層化状態遷移表設計手法」を支援した日本最初の CASE (Computer Aided Software Engineering) ツール。多数の車載製品での利用実績、JEITA/JASA 等の調査結果では日本国内のシェア/効果があった技術・ツールとして No.1 の実績を持つ。

- ・「拡張階層化状態遷移表設計手法 Ver2.0」をサポート
- ・MATLAB/Simulink/Stateflow、各種 UML のモデル変換
- ・状態遷移モデルベースシミュレータ、エミュレータを搭載
- ・各種 RTOS 対応 (ITRON 系、OSEK 系)
- ・自動生成コード: MISRA-C 対応

■株式会社スリーディーについて

スリーディーは、リアルタイム 3 次元 CG 表示技術を核に、様々な分野で先端的なソフトウェアの開発および CG コンテンツ制作を行なっております。車載ディスプレイを中心とした組込機器向けのグラフィックス開発、カメラ画像を用いた画像処理・認識システム、ハプティクス技術を用いた医療シミュレーションなどの技術によるノウハウをベースに、HMI 分野をはじめとする各種製品の開発を進めております。

スリーディーWeb サイト: <http://www.ddd.co.jp/>

■キャッツ株式会社について

キャッツは、リアルタイム制御・組み込み系分野において日本最初の CASE ツール「ZIPC」をリリースして 20 年が経過し、組み込み製品の品質確保に寄与して参りました。状態遷移設計のデファクトスタンダードツールとして、今後もさらに開発現場で使いやすいツール製品を目指しています。また、ツールベンダーならではの視点で、カスタムツールによる業務改善、生産性の向上に貢献しております。

キャッツ Web サイト: <http://www.zipc.com/>

[本件に関する問い合わせ先]

■報道関係

株式会社スリーディー 広報担当 大川清志(ohkawa@ddd.co.jp)

神奈川県横浜市港北区新横浜 2-3-8 KDX 新横浜ビル

TEL:050-5533-3380

キャッツ株式会社 プロダクト事業本部 上島大輔(d-ueshima@zipc.com)

神奈川県横浜市港北区新横浜 2-11-5 川浅ビル

TEL:045-473-2816

■お客様

株式会社スリーディー 営業部

TEL:050-5533-3380

Web フォーム: <http://www.ddd.co.jp/contact/>

キャッツ株式会社 プロダクト事業本部

TEL:045-473-2816

Web フォーム: <http://www.zipc.com/general/>

※記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。